

政策 08 分野横断的なまちづくりと市政運営

施策 03 組織・人事マネジメントの充実

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
多様化・高度化する行政ニーズに対応できる職員・組織になっています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	市職員の仕事ぶりに満足している市民の割合 (%)	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	基準値
	【人事課】	85.1	88.5	84.7	87	☂ (低下)
評価	前年度と比べて3.8ポイント減少し、平成30年度目標値に2.3ポイント届かなかった。これは、行政ニーズが高くなっていることも要因の一つであると考え。					☂ (低下)
						目標達成度 (---)

指標	組織・職員が市民の抱える問題・行政課題に関し、迅速かつ適切に対応できていると思う職員の割合 (%)	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	基準値
	【人事課】	51.9	53.4	55.3	60	☀ (向上)
評価	前年度と比べて1.9ポイント増加しているが、平成30年度目標値にはわずかであるが届かなかった。					☀ (向上)
						目標達成度 (---)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 組織力の向上

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	組織間・組織内連携が十分に図られていると思う職員の割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【企画課】	67.5	58.4	54.1	75	☂ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が4.3ポイント低下した。これは、30代の職員について「ある程度進められている」から「どちらとも言えない」に回答数が増加したことが要因と考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業02 適正な人事管理

指標	定員適正化計画の定員と職員数の差（人）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【人事課】	2	4	3	0	☀ (向上)
評価	前年度と比べて乖離が小さくなったが、年度途中の退職や定年前の退職もあるため、計画どおりにはならなかった。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業02 適正な人事管理

指標	適材適所の人材配置ができていると思う職員の割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【人事課】	92.6	88	86.5	93	☂ (低下)
評価	前年度と比べて1.5ポイント低下しており、目標値に届いていない。これは、市政業務の増加に伴い、人材配置についての要望が増えていることが要因の一つであると考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業02 適正な人事管理

指標	処遇に納得している職員の割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【人事課】	90.4	86.2	89.9	91	☂ (低下)
評価	前年度と比べて3.7ポイント増加しているが、平成30年度目標値には1.1ポイント届かなかった。公平性、納得性の高い人事考課制度を使用した昇給制度のもと、上司が部下に評価結果を開示するなどした結果、処遇に納得している割合が増加したと考える。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業03 人材の育成

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	研修、OJT、人事考課制度等により能力が向上したと思う職員の割合 (%)	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対基準値
	【人事課】	81.1	78.6	82.9	83	☀ (向上)
評価	前年度と比べて4.3ポイント増加しているが、目標値には0.1ポイント届かなかった。これは、研修参加に負担感を感じる職員がいることなどが要因の一つであると考ええる。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						(---)

基本事業04 安全衛生の確保

指標	安全衛生に適切に対処し、職員が健康で安心して働くことができていると思う職員の割合 (%)	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対基準値
	【人事課】	83.9	81.2	84.1	85	☀ (向上)
評価	前年度と比べて2.9ポイント増加した。これは、働き方改革への取り組みにおいて、ワークライフバランスを念頭に時間外勤務の削減等に向けた取り組みを推進したことが要因と思われるが、平成30年度目標値には0.9ポイント届かなかった。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						(---)